

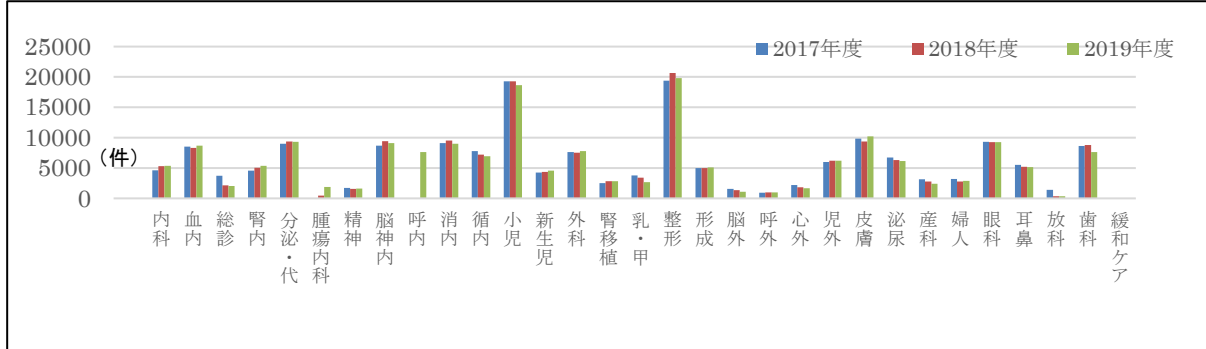
1. 外来の具体的な目標と評価

- 1) 安全な看護を提供し、円滑な診療が行える
 - (1) 看護手順を遵守し根拠に基づく看護が提供できるようナーシングスキルの活用を促し、正しい知識と技術を踏まえ看護実践に活かせることができた。
 - (2) がん看護分野のリソースナースと情報共有し、個別性のある看護支援ができた。
 - (3) 採血室での予定採血者数を把握し各ブースへ応援体制を整えた。処置センターでの待ち時間調査を行い、昨年度と比較し、30分以上の待ち時間が約10%減少した。
- 2) 時間枠を考慮した応援・協力等の、業務改善が行える
 - (1) 日々の業務予定表を活用し患者数や検査、処置などの業務量を全体で共有した。副看護師長を中心に応援体制を調整することができた。
 - (2) 配置換え看護師が円滑な業務が行えるように指導計画書を作成し活用した。
- 3) 感覚・知覚・運動機能の変調を想定し、医療安全行動が行える
 - (1) 確認不足によるインシデントに対して ImSAFER を用い事例検討を行った。要因分析を行うことで、対策が明確になり行動化につながったと考える。
 - (2) 指差呼称と6Rの徹底と感染防止対策の継続、6S活動を小グループの活動で推進した。
- 4) 各ブースの診療科の特徴を理解し、専門的知識を習得できる
 - (1) 看護職員能力開発プログラム(キャリアラダー)を導入し、それぞれにどのようなスキルが必要か考える機会となった。定期的に面談で進捗状況を確認しながら評価できた。スタッフからも後輩に対して、教育的視点を持つことができたなど声もあり学びを実感できた。
 - (2) 勉強会を4回開催し、参加率は平均40.1%。外来で毎日することでもなくても必要な知識の内容でもあり、勉強会に対する満足度は93.3%と高く、勉強会資料を外来のオリエンテーションファイルに含めることも検討している。
- 5) 育児・介護等の環境を考慮し、職場環境での調整や支援ができる
 - (1) 参観日や運動会など行事に積極的に参加できるようブース間で年休取得に協力し合える環境を作り、計画的に年休取得ができた。救急外来勤務も各個人の希望を聞きながら救急外来予定表を作成し割り振りをすることができた。
 - (2) リフレッシュ休暇計画表を作成し、取得時期を確認しながら業務とのバランスを考慮し、事前に対策を立て全員取得できた。
- 6) 2019年度取り組んだ業務
 - (1) PFMの導入(外科、消化器内科、泌尿器科等)
 - (2) クラーク業務見直し(応援クラーク、アシスタントへ業務を移行。車椅子チェック、郵便物回収、シュレッダーなど)

2. 運営状況

表 1 外来患者数

	延べ患者数(人)	1日平均患者数(人)	延べ初診患者数(人)	初診率(%)
2017年度	186,467	764.2	23,203	12.4
2018年度	186,510	764.4	23,269	12.5
2019年度	184,140	754.7	23,309	12.7



3. 看護統計

1) 外来で行われる主な検査・処置

図 1 診療科別件数

ギブス巻 カット、シーネ (整形外科)	関節内注射/ 穿刺 (整形外科)	膀胱鏡 (泌尿器科)	生検 (皮膚科)	光線治療 (皮膚科)	小児外科 造影(小 児外科)	聴力検査 (耳鼻科)	処置センター	
							ミエ口	心カテ
282 件	945 件	794 件	367 件	334 件	148 件	579 件	11 件	10 件

内視鏡検査・治療				貯血 (処置センター) (整形外科)	輸血 (処置セ ンター)	採血件数 (成人) (小児)	骨髄穿刺 (処置セ ンター)	CT(MRI)血管確 保(処置セ ンター での実施数)	脊髄造影 (外来ミエ 口を含む)
ERCP	上部	下部	気管支鏡						
226 件	2755 件	1453 件	344 件	6 件 144 件	569 件	49183 件 5617 件	144 件	4969 件	520 件

2) 外来手術件数

整形外科	形成外科	眼科	外科 血管外科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻科	小児外科
70 件	141 件	134 件	43 件	0	102 件	0	1 件

3) 診療科別外来化学療法件数

	血内	呼内	消内	乳・甲	泌尿	腫瘍内科	耳鼻	婦人	消外科	腎内科	整形	皮膚	脳外科	小児科	脳神経内科	循環器
2017年度	1624	495	808	159	145	0	17	35	11	0	0	5	17	9	0	0
2018年度	2053	526	781	126	179	43	97	3	2	0	0	15	0	2	2	0
2019年度	1907	749	627	197	182	182	39	14	0	1	1	5	8	1	2	1

4. 研究業績

1) 看護研究発表・研究会発表

発表演題名	発表者	学会名	開催地	開催日
乳がん手術を受ける患者が治療の意思決定に必要な看護支援	神吉佳代	第 15 回中国四国地区 国立病院機構国立療養所 看護研究学会	広島	2019 年 9 月 7 日
初回外来化学療法へ移行する患者の家族の思い	東仁美	看護研究発表会	院内	2020 年 2 月 8 日